

えいたその恋しそうな夜

on zoom

愛と伝説の 風とロック芋煮会 歌本ナイト



「俺もなんか横で歌っちゃってたけど」

zoomのチケット買ってくださった方々からリクエストを事前に募っております。そのリクエストに、応えていく、そしてリクエストに込めた思いも紹介していくっていう、そんな時間です。

▶ラブソングが一番似合う友康さんに歌ってほしいです

▶俊美の兄貴が歌うと夜感すごいね。▶TOSHI-LOWさんが歌う「トンネル抜けて」大好き▶藤井くんの声と"逢う"▶市川さんから、LOW IQ 01さんへのリクエスト▶マツは「乾杯」は完璧に歌える

2010年から始まった 伝説のプログラム

箭：「SUPER特番!! LIVE 福島風とロック芋煮会」お送りしています。えー、一昨日木曜の19時から始まってますから。あ、ちよ、ちよと待ってください。お？俺の声が追いかけてくるけどこれ、ちよと待ってくださいーいって。

成：声変わってますよね？なんだこれー！あはは(笑)。

箭：ま、始まりましたはい。えー、この時間のプログラムは「愛と伝説の風とロック芋煮会 歌本ナイト」ということで、お送りします。はじめにですね、えー、これー、zoomを使って、今日やりますので、はい。えっとねまずね、みなさん、ご覧になってるみなさんは、マイクをオフにしてください。すみません、マイクのことをオフにしてください。左下にあります、マイクのボタン。その左下の、となり、右側にあります、えーカメラ。ビデオオンオフがありますけど、えっと、ビデオは、顔が映ってもいいよっていう方はオンの

ままで、ちよと顔やめとくわかっていう方はオフにしてください。えっと、途中で、オンの方は、聴いている表情とか、もしかしら抜くかもしれませんが、中テレビさん、福島中央テレビ。はい。歌本ナイトってこれどういことかっていうんですね、2010年の風とロック芋煮会から始まりましたね。これ。伝説のプログラムのひとつです。

友：そうですねー。

箭：ねー(笑)。

友：歌いましたね(笑)。

箭：歌いました。あの、友康さんからは、初回やって、何時くらいから始めたかね、夜。

友：いや、さつきもちよと聞いてたんですけど、何時間やってたかわからないくらいやつ

てました。

成：そんなに？

箭：たぶんね、6時間とか7時間とかやってますよね。

友：やってますよね。

成：えー！

箭：で、マネージャーの藤澤さんが心配して(笑)。

友：ははは(笑)。

箭：さすがに、ちよと部屋に帰させてくださいってなって。

友：いやもう、楽しいんで。何時間でもやってられますよね。

箭：ねー。友康さんと、(T)H E BACK HORN 菅波 栄純。

友：で、お客さんたちと一緒に歌ってたんだよね、あの時はね。

友：そうですね、そうです。

成：楽しんでそう。

友：で、もう入れ替わり立ち替



2010年歌本ナイト

わりで。

箭：あの、その時の写真もう1回出ます？

友：ふふふ(笑)。

箭：ああちよと暗くてわからない、これはね、最初の、ステージでやってた歌本ナイトなんだよね。

成：へー。

友：あー。

箭：テレサ・テンの、えーと「時の流れに身をまかせ」とか。

友：はいはい、これ最初ですね。

箭：うん、そんな歌歌ったりして、やってた時です。こんな感じですよ。で、これがね、あの、スリーショットないですかね、ドラキュラとオバQと、友康さんの。ないかな？

成(笑)：どういこと？楽しんで！

箭：あ、出てこないねー。

成：楽しいことがあったんですけど、

友：最高でしたね。

成(笑)：(笑)

箭：またちよと探してもらいましょう。

友：最高でしたね。

成(笑)：(笑)

箭：このね、zoomのチケット募っております

記事、写真、イラスト等の複製・転載を禁じます

えいたその歌で いきますよ

ト買ってくださった方々からリクエストを事前に募っております。そのリクエストに、応えていく、そしてリクエストに込めた思いも紹介していくっていう、そんな時間です。1曲目、友康さんの伴奏で、えいたその歌でいきますよ。

友：はい。

成：はい。

箭：北海道からいただいています。はい。

成：ありがとうございます。

箭：北海道のゆかり。JUDY AND MARYの「Over Drive」。いただきます。

成：はい。

箭：中学生の時に初めて大好きになった曲です。ギターソロが好きで、ギターが大好きになりました。聴いていると目の前に風景が広がるようで、大好きなです。はい。

成：風景を広げますか。この夜にね。

箭：うん。あのー、えいたそ友康の共演は初めてでしょ。

友：初めてです。

成：一緒に合わせて歌うことは初めてです。

友：さつき、はい。

箭：怒髪天は、でもアイドルは、ひめキュン…。

友：やりましたね。

成：おー！

箭：フルーツ缶やったことある。それに続いて2回目ですね。大雑把にいうと。

友：そうですね。

成：あそれは嬉しいですね。お願いします。ドキドキ。いけるかな。

友：やりましょうか。

成：お願いします！

♪「Over Drive」

(拍手)

成：ありがとうございますー！

箭：これは、いいね、いいね！

成：楽しい！ありがとうございます！

友：なんかない、カラオケでもなく、流してもなく。なん、なんでしょうねこの感じはね。

成：ねー。初めての感覚です。あまりあの、ギターに合わせて

歌うことってないので。

箭：そっかそっか。

成：めっちゃ楽しかった。

箭：しかも日本で相当上手い人ですからね。ギターね。

成：そうですね、こんな腕の方と…。

友：いやでも僕ら、箭内さんも、そうだけど、僕らの世代って、こう、フォークギターを弾いて、歌うっていうのはもう基本だったんですよ。これが楽しみで、ずっとやってましたよ。

成：いい時代です。

箭：いやいや、いいいいですね。

友：でもなんか楽しかったです。

箭：ジュディマリは、だって、北海道が生んだ3つのバンドといえ、GLAY、ジュディマリ、怒髪天ですからね。

友：そうですね(笑)。

成：まさに。

箭：北海道が生んだっていうか、YUKIちゃんがってことですかね、ジュディマリ。

友：函館ですね。

箭：で、これ、ひとまずえいたそ1曲歌ったところで。

成：次の人かな。また来ますねー！

行く、死ぬ、行く

箭：はい、そうなります。えー、次はね、次のリクエストもらってるのは、「ガンダーラ」です。茨城県の水軍ラインさん。あ、違う、水軍ラインさん、茨城県、そうだね、「小学校6年当時、ゴダイゴを初めて知って衝撃を受けたバンドの佇まいでした。テレビのスピーカーにラジカセくっつけて、録音ボタンと再生ボタ



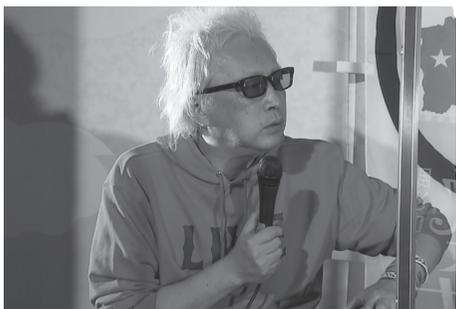
歌い終わりに「イエイ！」とピースをする成瀬

T: 一番でも、やだね緊張すんねこれ。
 箭: あ、そう。
 友: でも声、なんかびったりだね、これ。
 T: いやいやいやいや。
 友: 「ガンダーラ」すごい合うなと思つて聞いてた。
 T: 高いなタケカワユキヒデ、やっぱり。
 友: 高いね。でもオリジナルキーだもんね。すごいすこい。
 T: うん。いや、本当にありがとう(こ)ざいます、ほんと。兄い(怒髪天増子)も帰っちゃったのに。
 友: (笑)みんな帰っちゃった。
 箭: 兄い明日あるからね。



「高いな、タケカワユキヒデ、やっぱり」

T: うん。
 箭: あのー、幅広い世代が知ってるってこともあるけど、ちょっと待って。(カンペ読んで)あ、友達さんデッドまであと25分。
 友: ははは(笑)。
 箭: 大丈夫大丈夫、もうちょっと喋るね。あの、魅力はなんなんだろうね。まあ、みんなが知ってる歌って、だいたいなくなっちゃったなって、最近思うけど。それ以外になんてしようね。この、思い出も重なるってのもあるけど、何がこんなにキュンとくるんだらう。
 友: なんですかね、これは。



「何がこんなにキュンとくるんだらう」

T: ね、でもまあこんなに今世代全部で聴いてる歌なんか、やっぱないじゃない?
 箭: うんうん。
 T: それをね、やっぱりあの当時、こう、作り上げて、歌本に入っている歌は、みんなが結構歌えるっていう、改めてすごいなって思つて。すごい難しいことかもやってるんだけど、今みたいに、テクニカルだからすごいってことじゃなくて、ある意味、ね、いまの「ガンダーラ」もそうですよね、歌メロだけ聞いとるとそこまで難しくもないように聞こえるんだけど、弾くとむちゃ難しい。
 友: そうそうそう。
 箭: なんかも、もう、時代は違うのやつで。
 箭: サブちゃんの感じで。
 T: サブちゃんのやつ。あれで出てほしいなー。
 箭: はい。
 T: 期待してますよ。
 友: はい、頑張ります。
 箭: じゃあえつとTOSHIEELOWはまた後ほど。
 T: はい。
 箭: 登場しまーす。友達さんが、ちょっとね、夜早く眠るタイプなんで最近(笑)。
 友: (笑)

友: (笑)みんな帰っちゃった。
 箭: 兄い明日あるからね。
 T: うん。
 箭: あのー、幅広い世代が知ってるってこともあるけど、ちょっと待って。(カンペ読んで)あ、友達さんデッドまであと25分。
 友: ははは(笑)。
 箭: 大丈夫大丈夫、もうちょっと喋るね。あの、魅力はなんなんだろうね。まあ、みんなが知ってる歌って、だいたいなくなっちゃったなって、最近思うけど。それ以外になんてしようね。この、思い出も重なるってのもあるけど、何がこんなにキュンとくるんだらう。
 友: なんですかね、これは。
 T: ね、でもまあこんなに今世代全部で聴いてる歌なんか、やっぱないじゃない?
 箭: うんうん。
 T: それをね、やっぱりあの当時、こう、作り上げて、歌本に入っている歌は、みんなが結構歌えるっていう、改めてすごいなって思つて。すごい難しいことかもやってるんだけど、今みたいに、テクニカルだからすごいってことじゃなくて、ある意味、ね、いまの「ガンダーラ」もそうですよね、歌メロだけ聞いとるとそこまで難しくもないように聞こえるんだけど、弾くとむちゃ難しい。
 友: そうそうそう。
 箭: なんかも、もう、時代は違うのやつで。
 箭: サブちゃんの感じで。
 T: サブちゃんのやつ。あれで出てほしいなー。
 箭: はい。
 T: 期待してますよ。
 友: はい、頑張ります。
 箭: じゃあえつとTOSHIEELOWはまた後ほど。
 T: はい。
 箭: 登場しまーす。友達さんが、ちょっとね、夜早く眠るタイプなんで最近(笑)。
 友: (笑)

友達さん、3曲歌ってほしいんですけど

T: あの、船で(笑)。船の先っぽのやつで。
 箭: サブちゃんの感じで。
 T: サブちゃんのやつ。あれで出てほしいなー。
 箭: はい。
 T: 期待してますよ。
 友: はい、頑張ります。
 箭: じゃあえつとTOSHIEELOWはまた後ほど。
 T: はい。
 箭: 登場しまーす。友達さんが、ちょっとね、夜早く眠るタイプなんで最近(笑)。
 友: (笑)

ムじゃないでしょ?
 T: リアルタイムだよ。
 箭: リアルタイムか。
 T: プラフ(BRAHMAN)でゴダイゴの曲カバーしてんで、俺ら。「Cherries Were Made For Eating」。
 箭: あの、つていうか、聞いたリアルタイムではないんじゃない、小学生?
 T: いやいやいや、聞いてたよ、「西遊記」。
 箭: あ、「西遊記」。

友: そうですね。
 箭: やってましたね。やー。この歌は、あの茨城県の水軍ライオンってことは、やっぱ茨城出身のピックアーティストを呼ぶしかないですね、ここは。友: もうピックアーティストしかないですね。
 箭: はい。もう1回友達さん呼び込んでください。
 友: はい、えーじゃあTOSHIIELOWくんですーいらっしやいませ。あはは(笑)。
 箭: TOSHIIELOWは、これ「ガンダーラ」は、リアルタイムか。
 T: うん、誰?
 箭: うん、誰の声?いま「西遊記見た」って。誰かマイクオフにしてない人いる?
 T: ふふふ。入ってくんじゃねーよ、この野郎!(笑)
 箭&友: ははははは!(笑)
 T: 6000円とんぞ、6000円。入ったら。
 友: 6000円!
 箭: 大丈夫?西遊記見たの。
 T: アーティストと喋んじゃねー

よ、王子と喋んじゃねーよこの野郎!(笑)
 箭: ちょっと収集つかなくなっちゃうからね、これね。
 友: ははは!(笑)
 箭: でも、ゴダイゴが音楽シーンに与えた影響つても大きいでしょ。
 T: 難しいよね。
 箭: うん。
 T: 1人で弾いてやれる感じじゃないもんだって。
 箭: うん。
 友: コードがね、いろいろ使ってるから。
 T: おしゃれだね。
 友: そう。バツと聞きにはね、そんな難しく聞こえないんだけど、いざ弾いてみようとかすると。
 箭: そうなんだ。
 友: とんでもなく難しい。
 T: ね。
 友: うん。
 箭: あの、あれですよ、結局、僕俺、中学生か高校生か忘れてたけど、ゴダイゴって日本語じゃなくて英語の歌を。
 友: うん、そうですね。
 箭: 歌う人たちがいう。東京外語大だよ、タケカワさんつ

てね。
 友: そうですね、タケカワユキヒデさん。
 箭: ある種さ、BRAHMANみたいな存在ですよ。
 T: うん?
 箭: 英語の歌歌う人。
 T: ああ。
 箭: 英語の歌歌う人つて、僕らの頃そんなたくさんいなかった。
 T: でも、ね、それで、ベストテンとか出てたんだから、すごいっちゃすごいよね。
 箭: そう、そう。
 T: うん。
 箭: はい、えつと、軽くギターくださいって。
 T: あ、はい。ここ、歌い出しのところとか。(友康とTOSHIIELOWがギターを合わせる)うん。でも、王子いるし、俺あんま弾かなくていいか(笑)。
 友: 弾いてください(笑)。
 箭: じゃあいきますか。良きタイミングで。
 T: この、イントロがいいんですよ。
 友: さっきね、練習しました。
 箭: そつかそつか、あの、マイナーから入る曲なんだけど、イン

トク明るいもんね。
 T: そう。
 友: そう、転調するやつね。
 T: そう。
 友: 失敗するかも(笑)。さっき覚えたばかり(笑)。
 T: さっきね、すげー一生懸命やつてたの見たからね。
 友: できないかなあと思つたら、ちょっとやつてみる。
 T: 「ガンダーラ」
 (拍手)
 T: 大変(笑)。
 箭: いやー、いいねいいね!
 友: いい曲ですね。
俺もなんか横で歌っちゃってただけ
 箭: いい曲だし、なんかやっぱこの歌本ナイトつてたぶんね、zoom見てる人たち、みんな歌っちゃってたと思っ、一緒に。だからじつくり聴くつていうだけじゃなくて、俺もなんか横で歌っちゃってただけ。
 友: 歌いたくなりますね。
 箭: 歌う喜びがあります、一緒に歌う喜びね。
 友: そうですね。

と思うのですが、「あれ？」ソロロコーナーがなくなったと思うのですが、その時、たしか、みゆきさんの曲も練習していたのに、というようなことをおっしゃっていて、聴きなかったなあと思うっていました。」同じく「糸」、埼玉県スーパードミッチャー。「上原子友康さんのバーステラ イブで歌っていただけ感動しました。ぜひ今日お願いします。」

友：はい。
箭：これは、えつとー、サブライズ演出で、このゆみたさんが行った時はなくなったんだ。
友：そうですね、50歳バースデーライブで。あの、僕は歌う予定でいたんですけど、サブライズな演出があったもんで、カットになったというか(笑)。
箭：一方この、埼玉県スーパードミッチャーが来た時はやったんだ。

友：そうですね。でも結構何回か、歌ってんですよ。好きな曲なので。
箭：はい。ではまず「糸」、いいですか。
友：でもなんか(笑)、ちゃんと(笑)。歌本ナイトって、



「イントロには僕も結構命かけますね」

友：ありがとうございます、楽しかったですね。
箭：ありがとうございます、友康さんの、うん。あの、「ルビーの指環」(リクエストが)群馬県から来てます。だけ。若かりし頃の失恋を思い出すから。ペストテンで特別な椅子があったから。子供ながらに大人ついているいるあるんだなと。あったよね、あの、白い椅子の中に、寺尾聰さんの椅子だけ赤かったりして。
友：あ、そう。ありましたよね。あはは(笑)。
箭：あの3曲同時にランクインしたんじゃない。
友：しました、なんでしたっけ。
箭：「出航さすらい」で。
友：「ルビーの指環」と。あのーあれなんだっけ。
箭：なんだっけ。
友：ど忘れした、あの…。
箭：トウルル…あ「SHADOW CITY」。

友：かけてますね。
箭：かけてます？
友：友康さん、あれ最高でしたよ、あの「大バロコ人」。クドカン(宮藤官九郎)の。
友：あ、「愛が世界を救います」。
箭：あれの音楽、演劇の音楽。僕が宣伝美術やったんです。

なんかこう、ね、ラフなね、ラフな感じで、こう。
箭：そうですね。
友：すごい緊張する。

箭：なんかちよつと歌番組的な感じに。もうちよつとラフにしましょ。ほら、コロナのこともあって、酒飲んでないからね、俺ら。
友：そうですね、そこが大きいですね。
箭：じゃあちよつと、ラフに。どうなの友康さん、中島みゆきさんなんか。

友：僕好きですよやっぱり。
箭：「糸」以外だったらどんな歌が好きですか？
友：えー、「時代」とか、まあでも普通に「悪女」とかも流行ってたじゃないですか。いただいた全部ギターでコピーして歌ってましたよね、昔は。

Bメロが好き

箭：いいですよ。友康さんと話した時、ずっと思いつくのは、Bメロが好きっていう。
友：ふふ、そうですね。
箭：僕もBメロ大好きなんです。なんでBメロってあんないんだらうね。
友：うーん、昔の曲って、Aメロ



Bメロの魅力を語る

友：Aで掴んで、Bで引いて、サビでボンっっていう。
箭：そうそうそう。
友：そのBの、なんか、なんていうんだらう、存在の仕方がすごい好きっていう。
箭：今日の昼のライブでも、怒髪天、最後に、「下真ん中節」やってくれて。
友：はい。
箭：「下真ん中節」のBメロもいもいもね。

友：ありがとうございます。
箭：うん。
友：Aで掴んで、Bで引いて、サビでボンっっていう。
箭：そうそうそう。
友：そのBの、なんか、なんていうんだらう、存在の仕方がすごい好きっていう。
箭：今日の昼のライブでも、怒髪天、最後に、「下真ん中節」やってくれて。
友：はい。
箭：「下真ん中節」のBメロもいもいもね。
友：ありがとうございます。
箭：うん。
友：Aで掴んで、Bで引いて、サビでボンっっていう。
箭：そうそうそう。
友：そのBの、なんか、なんていうんだらう、存在の仕方がすごい好きっていう。
箭：今日の昼のライブでも、怒髪天、最後に、「下真ん中節」やってくれて。
友：はい。
箭：「下真ん中節」のBメロもいもいもね。

すよ。3曲入ったのは、あの、原田真二さん以来じゃないですか。
友：あ、そうでしたっけ。
箭：うん、原田真二さん。「キャンデイ」と、「ていんずぶるーす」と、えー…
友：「シャドー・ボクサー」と！(笑)。
箭：同世代だもんね。
友：同世代。
箭：じゃあ、えー、作詞松本隆さんですよ。これは。
友：そうですね。
箭：作曲、寺尾聰さん。寺尾聰さんって、宇野重吉さんの息子さんで、ずーっと俳優さんだった、ずつと最後まで俳優さんですけど、最後までっていうか今も俳優さんですけど、あのーこう、なんていう、シテイポップですか？
友：いや当時はなんか、ひたすらシブい、シブいおじさんになつて思っ。

友：「SHADOW CITY」。
箭：なんでそういうこと覚えてるんだらうね(笑)。最近の仕事の大事なことは忘れるのに。
友：ははは(笑)。
箭：「SHADOW CITY」で

♪「糸」

(拍手)
友：ありがとうございます。
箭：いいいねー。なんかこう、今もそうですけど、歌つちやいますね、絶対歌ってますね、見てる人。酒飲んで、一緒に。
友：そうですね、そうして見ていただける嬉しです。酒飲んで、画面の向こうで。
箭：なんかね。なんかこれいいね。
友：いいですよ。
箭：うん。あのー、中島みゆきさんいいよね。
友：やー、もう。
箭：いつか来ないかね風とロックサキ煮会に、絶対来ないよね。
友：いや、お願いしますよ箭内さん(笑)。
箭：銀杏BOYZの村井ちゃんのいところなんだよね。
友：そうですね！

友：ありがとうございます。
箭：いいいねー。なんかこう、今もそうですけど、歌つちやいますね、絶対歌ってますね、見てる人。酒飲んで、一緒に。
友：そうですね、そうして見ていただける嬉しです。酒飲んで、画面の向こうで。
箭：なんかね。なんかこれいいね。
友：いいですよ。
箭：うん。あのー、中島みゆきさんいいよね。
友：やー、もう。
箭：いつか来ないかね風とロックサキ煮会に、絶対来ないよね。
友：いや、お願いしますよ箭内さん(笑)。
箭：銀杏BOYZの村井ちゃんのいところなんだよね。
友：そうですね！



「絶対歌ってますね、見てる人」

す。すごい好きなんですよね。僕も大好きです。

メロディのせつとつ

箭：「たばこをくわえて」俺歌えつていう夜じゃないんで、再録したやつもあるんですよ。新しいアレンジで。あれも好きですね。
箭：いいメロディ書くよね。わりと友康的なメロディのくせというか。
友：影響はたしかにでも、受けてますね。
箭：「メリーゴーラウンド」っていう歌もいいんですよ、堺正章さんのために書いたんだっけ。
友：ええ。
箭：いいんですよ。
友：知ってますね箭内さん。
箭：そういう俺の話をする夜じゃないのにごめんさい。でもほら、歌番組っぽくなく、こうただ喋るっていうのがね。そんな感じ。じゃあやってみます。あのイントロでいくんですか？
友：いや、いこうと思っってます。

す。すごい好きなんですよね。僕も大好きです。
箭：「たばこをくわえて」俺歌えつていう夜じゃないんで、再録したやつもあるんですよ。新しいアレンジで。あれも好きですね。
箭：いいメロディ書くよね。わりと友康的なメロディのくせというか。
友：影響はたしかにでも、受けてますね。
箭：「メリーゴーラウンド」っていう歌もいいんですよ、堺正章さんのために書いたんだっけ。
友：ええ。
箭：いいんですよ。
友：知ってますね箭内さん。
箭：そういう俺の話をする夜じゃないのにごめんさい。でもほら、歌番組っぽくなく、こうただ喋るっていうのがね。そんな感じ。じゃあやってみます。あのイントロでいくんですか？
友：いや、いこうと思っってます。

友：聞いた時びっくりしましたよ。でもよく見ると顔似てるんだよね。
箭：そうそう。
友：そう。
箭：いや、いつか。
友：いやーもう、名曲いっぱいあるんですよ。
友：そうですね。
箭：僕はね、ヒット曲っていうか、アルバムの中の曲とかもすごい好きで。
友：うーん。
箭：「夏土産」とかね。
友：「夏土産」？
箭：「夏土産」あるんですよ。次いきます？
友：しみじみしゃいますよね。
箭：次あれでしょ、タッタララララララダダッ！
友：それ、やりますね。
箭：タッタララララララダダッ！
友：あれって、イントロ覚えてますよね。タッタララララララダダッ！
箭：やっぱりイントロって亀田誠治さんが、僕はイントロ作るの結構上手いんだーなん

友：聞いた時びっくりしましたよ。でもよく見ると顔似てるんだよね。
箭：そうそう。
友：そう。
箭：いや、いつか。
友：いやーもう、名曲いっぱいあるんですよ。
友：そうですね。
箭：僕はね、ヒット曲っていうか、アルバムの中の曲とかもすごい好きで。
友：うーん。
箭：「夏土産」とかね。
友：「夏土産」？
箭：「夏土産」あるんですよ。次いきます？
友：しみじみしゃいますよね。
箭：次あれでしょ、タッタララララララダダッ！
友：それ、やりますね。
箭：タッタララララララダダッ！
友：あれって、イントロ覚えてますよね。タッタララララララダダッ！
箭：やっぱりイントロって亀田誠治さんが、僕はイントロ作るの結構上手いんだーなん

す。すごい好きなんですよね。僕も大好きです。
箭：「たばこをくわえて」俺歌えつていう夜じゃないんで、再録したやつもあるんですよ。新しいアレンジで。あれも好きですね。
箭：いいメロディ書くよね。わりと友康的なメロディのくせというか。
友：影響はたしかにでも、受けてますね。
箭：「メリーゴーラウンド」っていう歌もいいんですよ、堺正章さんのために書いたんだっけ。
友：ええ。
箭：いいんですよ。
友：知ってますね箭内さん。
箭：そういう俺の話をする夜じゃないのにごめんさい。でもほら、歌番組っぽくなく、こうただ喋るっていうのがね。そんな感じ。じゃあやってみます。あのイントロでいくんですか？
友：いや、いこうと思っってます。

す。すごい好きなんですよね。僕も大好きです。
箭：「たばこをくわえて」俺歌えつていう夜じゃないんで、再録したやつもあるんですよ。新しいアレンジで。あれも好きですね。
箭：いいメロディ書くよね。わりと友康的なメロディのくせというか。
友：影響はたしかにでも、受けてますね。
箭：「メリーゴーラウンド」っていう歌もいいんですよ、堺正章さんのために書いたんだっけ。
友：ええ。
箭：いいんですよ。
友：知ってますね箭内さん。
箭：そういう俺の話をする夜じゃないのにごめんさい。でもほら、歌番組っぽくなく、こうただ喋るっていうのがね。そんな感じ。じゃあやってみます。あのイントロでいくんですか？
友：いや、いこうと思っってます。

成：しちゃんばいいじゃん！軽く

言っちゃったなあ(笑)。

成：「えいたそむっちゃいいよ」って来てます。

成：ありがとうございます。

えいたそむに恋しそうな夜ですね

成：「えいたそちゃんの歌声で聴く卒業写真いいな！藤井さんの情熱的なギターにグツとくるよ。」って。えー、「いろいろ蘇って泣けます。泣きながら一緒に歌ってしまっ！」

成：一緒に歌おう、うん！

成：「サビ、家でハモってます」

成：聴きたかったねーそれもね、ありがとー！

成：「はい。じゃあえいたそもう1曲だけ。この後リハーサルあるでしょ二畳半の。二畳半ってちゃんとしてんだね、リハーサルやってんだねあの番組。」

成：やってますよー。

藤：ははは(笑)。やってますよ。

成：わーすごい。えーと何かもう1曲歌ってもらえます？それしたら。

成：あともう1曲何歌おうかっていう話を、楽屋でして、それで、やっぱりね、私が歌えて、

藤井さんがパツと弾ける曲ってなかなか…。

藤：なかなかね。

成：ないんです、めっちゃ迷ってたんですよ。

成：「しっとり歌うえいたそ本当に素敵だった」だって。

藤：ねー。合ってる合ってる。

成：恥ずかしいなあ、普段とちょっと違うからね。

成：そうギャップってあるよね。あのえいたその、買ってないけど写真集とかさ。

成：だー！

成：ほら、あの話題になつてたじゃない、なんか。

成：ちょっとセクシーめなやつね。素を見せるのって恥ずかしいので、なかなかしてないんですよ。地元だからできる。

成：だからこそ、ちょっとチラッと素が見えそうになる瞬間ってたまらないですよね。

成：福島でただぞー！なん

だーい！

成：ふふふ(笑)。うわー、エロいねこの言い方。福島でただぞーって(笑)。

成：もうー特別だぞー。で、なんかね、そのね、歌本を見てたんですよ、楽屋で。で、パツと開いたところが、これ

なら2人ともいけるんじゃないかっていう曲だったの、ちよつともう1曲だけいかせてもらってもいいですか？

成：いいともー！って聞こえたね。

藤：うん。

成：聞こえましたね。

成：聞こえました。

成：「恋するフォーチュンクッキー」を、お願いします。

成：これはでも本当に、あのいろんな有名な、あのアーティストの方が、すごい名曲だつていう、あの小田和正さんが力説してたの、僕覚えてます。これはすごいよねこの曲は、

はい。

成：ふふふ(笑)。いけるかな？

藤：どうやって入る？

成：「恋するフォーチュンクッキー」

(拍手)

成：ありがとうございます。

藤：ごめんね間違っちゃった。

成：今完全にアドリブだったんです、すごい！(笑)はあ。

成：いいねいいね。

成：いい曲ですね。

成：さつきね、あの、藤井くん、ちよつと友達さんと、やっぱ



「ごめんね間違っちゃった」

成：合いますね。

藤：うん、合う。

成：合うねー。

成：いい曲だ。これ、永遠に歌っていたいですがー？(笑)どうしたらいい？

藤：ははは(笑)。

成：でもリハーサルが始まるんじゃないの？

成：もう始まりますね。

成：ってことになつてるけど、もう1曲くらいやっていったら？

成：まだいけます？

成：藤井くんのさ、一番だけ方式でさ。何もなしと思うけどそこ。

藤：何かある？

成：なんか、有名な、あの、ななるべく、平成の曲で…。

藤：ははは(笑)。

成：平成の曲知らないでしょ、藤井くんも俺も。

藤：わかんねえなあ。

成：どう？

藤：(少しギターを鳴らす)藤：なんか、どうだろ？えいたその小学校の校歌とかは。

藤：ははは(笑)。

成：小学校はー。バレちゃいます

ねえー！

成：あ、バレちゃうか、そっかそっか。

成：近くですけどねえ。

成：そりゃ失礼。近くの？

成：近くですけどね。もうね、街中なので。

成：この近くだ？

成：まあ何番目かに近くなるんで。バレないですけどもね。

成：じゃあ、この後の番宣だけしていきますか。

みなさま、ぜひ応援してください

成：そうですね、この後、生放送なので、0時55分から、二畳半レコード生放送行きますー。初めての生放送に参加するので、みなさま、ぜひ、応援してください。応援？(笑)

成：これはひとまずこの時間は、生で見られるのは、福島県内だけ？

藤：そうですね。

成：そうですね。

成：あ、YouTubeも同時に？

成：そっか、全国の方も見られ

ますので。

成：YouTubeもやるんだ。

成：ぜひ見てください。

成：0時55分から。

藤：ぜひ。

成：お願いしますー、頑張りま

す！

成：今日どうでした、えいたそ、今日1日、このSUPER特番やつてたけど。

成：こんな楽しいのが明日もあるかと思うと。楽しみですわ。

成：全然疲れないですね、楽しくて。

成：疲れない？じゃあよかったです。

成：いや1日目だからつてもあるんですけど、まだ。

成：ま、明日疲れても、明後日はこれはないからね、違う仕事はあるだろうけど、みんな

成：明後日もやりたかったなー！(笑)

成：はい(笑)。

成：楽しかったですー。

成：これはだから来年もし、リアル芋煮会できたら、やりたいですね。リアルに。目の前にみんないて、みんなとやっぱ声を揃えて。

藤：そうですねー。

成：歌うって言うのやりたい。俺、先に歌詞言うの好きなんだよね。

藤：はいはいはい。

成：ふふふ(笑)。

成：君の「行く道は」「果てしなく遠い」「だのになぜ」あれ、あれやりたいんだよ。

藤：はいはいはい、いいい。

成：めっちゃくちゃ好きです、それ

成：はい。じゃあありがとうございます

成：ありがとうございます。この後も見てねー！

成：ほんとにリハーサル必要なの？二畳半レコード。

成：あ、ありがとうございます。この後も見てねー！

成：そうですね。良かったかな。

成：あ、今日朝ちよつと、ほんとはこ、来ようかなって思ってたんですよ。でも

せつかく福島にいて福島中央テレビ、オンエアされるっていうのをやっぱり見た

成：あ、ありがとうございます。でも、先にご覧いただき、客観的な意見というか、

ほんとはこ、来ようかなって思ってたんですよ。でも



成内「ちよつと少し聞いてみたい、客観的な意見というか」

成：あ、ありがとうございます。でも、先にご覧いただき、客観的な意見というか、

ほんとはこ、来ようかなって思ってたんですよ。でも

せつかく福島にいて福島中央テレビ、オンエアされるっていうのをやっぱり見た

成：あ、ありがとうございます。でも、先にご覧いただき、客観的な意見というか、

ほんとはこ、来ようかなって思ってたんですよ。でも

せつかく福島にいて福島中央テレビ、オンエアされるっていうのをやっぱり見た

成：あ、ありがとうございます。でも、先にご覧いただき、客観的な意見というか、

ほんとはこ、来ようかなって思ってたんですよ。でも

箭：神奈川県ジュニア、「出逢いの唄」吉幾三さん。一言、「沁みます」だけ理由が書いてあります。はい。

渡：これはね、あの、TOSHII-LOWと僕の共通の人ですよね。

T：はい。
渡：ヤスオちゃんっていう。風とロックのCARAVANの盛岡のほうにも出てもらったんだけど。

T：岩手県宮古市出身でね。

渡：宮古市出身でね。まあその震災後すぐあの、行って、スナック8件ぐらいかな、しかやってないぐらいの時に行ったんだけど、全部回ってうん。で、最後にヤスオちゃんがこの曲歌って。なんか俺も相当飲んでたし、もう朝方だし、うる覚えで、でもなーと思って、戻ってからヤスオちゃんにメールしたら、あの曲なんだって。いついたら、「出逢いの唄」っていうの。うん。

T：吉幾三でもね、なかなかこう知らないっていうかね。

渡：そうそうそう、ベスト盤にものってないし、なんかちゃんとライブの最後かな。



「出逢いの唄」を歌う渡辺とTOSHI-LOW

誘ったんですよ、芋煮会に。
渡：ねー。ねー。
箭：はい、じゃあトシちゃんありがとうございます。

トンネル抜けて

箭：トシちゃん出ます。で、少しTOSHII-LOWに何曲か。じゃりくエストだね、リクエスト来てるんだね。東京都、ミルク。

T：ほう。
箭：「小さい時に茨城の」これ何駅っていうの？
T：「大甕」って書いてあるね。大甕って、俺が行ってた高校があるところなの。

T：うん。
渡：そういうので来てくれた人たちにに向けて歌うっていうかね、大切にしている曲。本当はね、これカバーしたかったのね。で、事務所にも一応言ったら、「いや大切にしているんで」って、本当はTOSHII-LOWと俺とムツミとヤスオちゃんて歌いたかった。

T：ああそれは、狂ってますね。メンツが完全に(笑)。とち狂ってんなっていう。
渡：いいじゃない、そういうの。T：いいですよ。で、これをこのいわゆるこのギターで弾ける歌みたいなのを、俊美の兄貴が作ったやつを、「TOSHII-LOWも必ずこれを歌う時が来るから」って、くれたんすよね。どっかの時ね。
渡：そうですね、同じ同じ。譜面を指して)

俺たちを震わせるような歌を歌え

T：そしたらこれが、またその熊本の震災で避難所のお手伝いをした時に、その避難所のおじいちゃんたちが、「あんなちゃんは普段何やってる人

なんだ」って言われて、「いや、歌を歌ってます」そんなか。俺らはさあ、被災して家が潰れてすげえ大変なんだ。じゃあ俺たちの前で俺たちを震わせるような歌を歌え」って言われて、そんな無茶振りある。っていう時に、えーどうしようどうしようどうしようってしたら、この歌がポロッと落ちてきて。なんていうんすかね、この歌が持つてるその意味合いというか、その、自然っていうのはやっぱり恵もくれるし、もちろんそうじゃないこともあるんだけれども、やっぱりその自然の中で生きてる人にはちょっと強さっていうか。
渡：そうだね。
T：最後そのおじいちゃんたちがもう、うわーって拍手してくれて、もうこの歌なかったら今頃熊本のもう埋まっています(笑)。

渡：埋まってるないけど(笑)。
T：南阿蘇あたりに埋められてる(笑)。
渡：大怪我(笑)。
T：うん。
渡：でも、そういうなんだろうね、そういう災害、雨風嵐とか

箭：あ、じゃちょっとTOSHII-LOWの声で読んでもらおう。(TOSHII-LOWにメッセージの紙を手渡す)なんか、よりしじみじみすると思う。
T：俺？東京都ミルクさんからのお便りです。「小さい時に、茨城の大甕駅から、大好きな祖母の待つ福島の大野駅までの、各駅停車の駅名をひとつずつ覚えるほど乗った常磐線。トンネルを抜けると、福島だー」と思っていました。この歌を聴くと、トンネルの先に見えた海と、祖母の思い出が蘇ります。TOSHII-LOWさんが歌う「トンネル抜けて」大好きです。「

箭：うん。
T：ね。
箭：いいねいいね。
T：というリクエストを。
箭：はい、お願いします。「トンネル抜けて」ね。
T：まあ、いっても俊美さんもうだけけど、その俺たちのどっちかっつたら福島の中でのその浜通りっていわれるほうになんか文化が似ている。その6号線をずっと上

さ、いろいろこう災難震災とかそういう災害があっても、「ありがとう」という言葉がね、ちゃんとこういうのがあるのがこの歌のひとつの魅力だし、出会いというのね。
T：ね。
渡：ほんとここ10年たくさんのお会いもあって、うん。で俺も震災前からTOSHII-LOWとも会ってるんだけど、震災、その、2010年から風とロック始まって、で11年から震災があって、すごい助けてもらったし、本当に心から、なんか出会ってほんと良かったな。って俺思ってるんで。
T：いいえ、俺、兄貴のおかげで

ミュージシャンお弁当

渡：ははは(笑)。
T：ミュージシャンお弁当枠に今完全に入ってるんで。
渡：いや、もつ、なんかね、でもいいよね。さっきのTOSHII-LOWの話だけど、なんか家族のそういうふうになきっかけになったとかさ。

(拍手)
箭：いいね、はい。なんかスナックっぽい、拍手だね。
T：スナックっぽいねー。
箭：この拍手の感じいいね。
T：そうスナック行くとだいたい俺より歌の上手いおじいさん5人ぐらいいるね(笑)。
箭：(笑)。
T：すごい歌い上げてる人とかね。

箭：じゃ、次リクエスト。あと2曲TOSHII-LOWにお願いでして。
箭：「この曲は私が小学生の時に覚えた曲です。当時の私は歌詞の意味もわからず歌っていましたが、歌が大好きだった祖母が私に教えてくれた曲です。祖母は本当に歌うことが大好きで、毎日お風呂の時間が歌の時間でした。2011年春、とうとう祖母はNHKの『ど自慢』へ出演することになりました。念願の夢が叶い本当に楽しみにしていました。しかし、2011年3月11日東日本大震災が起きました。『ど自慢』は中止になりました。中止の連絡が来た祖母は本当にがっかりしていました。いまだにその姿は忘

れられません。その後、歌と同じくらいに大好きだった農作業も、原発事故の影響で思うようにはできなくなっていました。2012年2月に祖母は亡くなりました。『ど自慢』で歌う予定だった曲は民謡でしたが、祖母が私に教えてくれた曲『水雨』をリクエストしたいです。よろしくお願いします。」福島県くらげ。
T：はい。

子供の頃にたくさん聞いてた歌って、覚えてるね

箭：いいじゃない。TOSHII-LOWの「水雨」ね。
T：「水雨」ね。ただ「水雨」って思ったんだけど、やっぱり自分が生まれた頃っていうか子供の頃にたくさん聞いてた歌って覚えてるね。
箭：そうなんだよね。
T：そう。なんか親戚の俺もばあちゃん死んじゃったんだけど、ばあちゃんちにみんな正月とか集まって、まだ八チトラの頃のカラオケのやつでさ、で子供だから何番の何を入れるとか言ってる



初めて歌った「氷雨」

の係とかやらされて、それでやっぱ聞いてたっていうのはさっきね、ちよつとだけ練習したら、あ、歌メロは覚えてるもんだなと思って、じゃあそのおばあさんです、**か、「Gの自慢」に出ろ。**

箭：うん。おばあさん聴いてるかも。

♪「氷雨」

T：初めて歌った(笑)。(拍手)

箭：いいね。ばあちゃん、ばあちゃんに届いたんじゃない。

T：届いたね。

箭：ここに近いし。
T：「あつちの兄ちゃんにピール」つてくるやつだよ、スナックだと。バンバンくるやつ。

箭：(笑)。はい、もう1曲じゃあ。

T：なんかさ、俺のリクエスト、スナック多くな。

箭：そうだね。いやでも合う合う。

T：合うか？(笑)

箭：「大人になって家族でカラオケなんて恥ずかしくて行けないと思ってたんですが、父

親の誕生日に何かほしいものある？つて聞いたたら、『家族でカラオケに行きたい』と言われ、あまり気乗りはしなかったのですが、誕生日にカラオケに行くことになりました。そこで父親が酔っ払いながらご機嫌に歌ったのが、この曲でした。楽しそうな父親の顔を見ながら、なんかこんな時間があつてもいいかも、と感じたことがあります。思春期からあまり父親と話すこともなかった時間が過ぎてましたが、これ以降、一緒に飲みに行ったり、一緒にライブに行ったり、父親と過ごす時間を大切にできるようにになりました」大阪府マリンさんから「酒と泪と男と女」。はい。

静かに寝るのじょうぶ

T：いつも、あの、相棒の細美武士さんと、細美武士さんという、あの酒乱十段の方がいらつしやるんですけども、ね、その人とこう、いわゆるテーマ曲みたいに歌つて、でもやつぱりこれもやつぱり子供の時に、うちの親父なんかも歌つて。うちの親父も絶望的に歌とか下手なだけ、なんかその歌が下手な人つて高いところ叫んじゃう、ね。うまくこう、わかる？上、出せなくて。でもなんかそれがちよつとエモくて。下手なだけどうグツとくるつていうのすごい好きで。で、河島英五とかよく歌つて。なんか俺もすごく好きになつた曲です。

♪「酒と泪と男と女」

(拍手)

箭：いいねー。あのー、この歌は酒と泪の、なみだつていう字がさんずいに目なんだよね。

T：そう。

箭：戻るじゃなくて。

新しい流し、投入しまじょうぶ

T：あれがいいよね。歌詞の中に「静かに寝るのじょうぶ」もね、あの目へんに民じやなくて、あの寝転ぶの寝る、寝室の「寝」に、「むる」つて書くんですよね。

T：あ、ほんとだ。うんうん。

箭：これは河島英五さんの、たぶんこんな書き方違うんじゃないかと思うんだけど。

T：うんうん。

箭：なんか描写力つていうか、情景がこう見える、歌詞の世界なんだなーつてすごく思いますね。

T：ね、この本当に歌詞読んだだけで、その1個1個の言葉遣いで来ると来ないつてあるじゃない、やつぱ。

箭：そうだよ。

T：素晴らしいね。やつぱね。

箭：いい詞は見た目もいいんだよね、歌詞カードになった時の。

T：そうなの。いい詞つて、いい歌つてきれいな、歌詞が。本当に。ああ改めてすごいなこれ。

箭：じゃあ次のお客さん、お客さんかどうかわかんないけど、次の流しを呼びますか。

T：もういいんじゃない、もういいんじゃないですか。もうみんな疲れたでしょ、だつて。

箭：(笑)。疲れたら眠ればいいから、聴いてる人は。このスタッフの人は疲れたと思う。T：うん。

箭：なんでこんな人数いるのかつていうのがすごい。

T：ちよつと人数、人数減つてるとよね少し。減つてない？

箭：まあ、笑顔はないね。

T：ないよ。

箭：なんか、ジーンときちゃつてるみんな。

T：いや、疲れてるだけだと思うよ。

箭：だから、あのその新しい流し、投入しまじょうぶ。

T：うん、すんですか？でもあの人ももう結構おじいちゃんだから、寝ちゃつてんじゃないかなと思っただけ、楽屋で。

箭：あの人ね。

T：うーん、いや、昔すごかったんだよ怖くて。もうイケイケで。

T：もうすごかった。なんか

ちよつと今あの、おじいちゃんじゃないかなーみたいな感じですよ。あつてね。

箭：おばちゃんも入つてね。

T：あ、いた！起きてた！起きてた！

箭：おじちゃんきた。

一同：(笑)

01：(マイクなしで)ぶん殴つてやるぞ。ゴツンいってやるからなお前。

T：パイアグラかなんか飲んできたんすか。パイアグラかなんか飲んできたんすか(笑)。なんかあのー、あ、マイク入つてねえや。

T：マイクないつすよ。

箭：マイク今消音中。

T：あ、消音中。

箭：今、唐突に現れたから、今、消音間に合わなかった。

T：マイクじゃなくて大丈夫夫です？

01：マイクマイク。

T：マイクマイク。

箭：あ、マイクマイク。

01：マイクマイク。

T：マイクマイクはどこにあんすか？

01：(ポケットからマイクを取り出す)

T：あ、すげー、おばあちゃんちのリモコンみたいな包み方してる。

箭：(笑)

T：なんでリモコンサランラップで包むの？みたいな包み方。

01：なんかわかんない、あ、あ、すいません、(マイク)入れました。なんかわかんないけどさ、あのージヤムの挟んだビスケットわかる？

T：ジヤムの挟んだビスケット？

01：うん。あの、こう丸いちっちゃいやつでさ。

T：丸く見えるやつね、ちよつと。01：うん、丸くて、ジヤムが挟まつてんだけど、イチゴジヤムが。なんであれをティッシュで包むかね、おばあちゃんは。

T：ははは。くれるよ。

01：そうそう。なんかあれだね、TOSHIILOW。

T：はい。

01：なんかこう、お酒を飲んでないと、TOSHIILOWは夜になるといいやつになるんだね、なんかね。

T：そうすね。

01：お酒が入つてないとね。

T：うん、あとやつぱり自分より酒乱がいると結構控える。

T：あれがいいよね。

箭：あれがいいよね。歌詞の中に「静かに寝るのじょうぶ」もね、あの目へんに民じやなくて、あの寝転ぶの寝る、寝室の「寝」に、「むる」つて書くんですよね。

T：あ、ほんとだ。うんうん。

箭：これは河島英五さんの、たぶんこんな書き方違うんじゃないかと思うんだけど。

T：うんうん。

箭：なんか描写力つていうか、情景がこう見える、歌詞の世界なんだなーつてすごく思いますね。

T：ね、この本当に歌詞読んだだけで、その1個1個の言葉遣いで来ると来ないつてあるじゃない、やつぱ。

箭：そうだよ。

T：素晴らしいね。やつぱね。

箭：いい詞は見た目もいいんだよね、歌詞カードになった時の。

T：そうなの。いい詞つて、いい歌つてきれいな、歌詞が。本当に。ああ改めてすごいなこれ。

箭：じゃあ次のお客さん、お客さんかどうかわかんないけど、次の流しを呼びますか。

T：市川さんだつてあれですよ、朝、朝までに8回同じ話しますよ。

01：あ、酔っ払つたらね。

T：酔っ払つて。俺1回寝たけど起きた時に同じ話して、2時間くらい寝てただけど、ずっと同じ話(笑)。

01：1、2分の話かと思つちゃうよ。

T：2時間くらい聞いてるふりして寝てたの。そしたらまだ同じ話してると思つて。5時間くらい。

01：マジでほんとともう、脳ミソの、脳ミソのシワがなくなつてるよ俺、そしたら。

箭：ここはあれ、イッチャンあれなの？

01：はい？

箭：もう自分リクエストが中心になるのかな？

T：これ、いや違うこれリクエストから。

箭：リクエストから選んでるの？

T：リクエストありましたよ。なんか入つてた気がする。

箭：あつたね、あつた。これだ！

T：何人見てるの、z o o m。

箭：z o o mは30とかかな。チケット

T：じゃあ60万入つてこと？

箭：ははは(笑)。

01：計算が早い！(笑)

箭：316ね。はい、ちよつとメール読みますね。福島県のゆりさんから来てます。「大人になつて仕事に疲れて…」えー、あ、これ山谷ブルースだ、違つた。3番。「聴くとただ気分が上がる」つていうもうそれだけのコメントできてます。「銀河鉄道999」いいですか。T：それじゃないよ(笑)。

箭：これじゃないの？

01：まず宮田さんの、あの恒例の。

箭：あ、間違えた。

T：いいよ、いいよ。

箭：あ、「青空」だ。「青空」いきまじょうぶ。

T：「青空」。

箭：ちよつと俺ずれた。「青空」。

01：「青空」これ俺マイク大丈夫ですか？

箭：「青空」は。ちよつと待つてね。(コメントを探す)

01：これ青空じゃなくて、青雲ですよ、青雲。線香の。(歌い出す)「せいいうん〜それは〜き

来るんじゃない、こう未来になつて。

松：だから箭内さんが20代の気持ちに帰るってことで。

箭：僕は10代ですね。

松：あつ10代(笑)。

最後の曲になります

箭：(譜面を探し続ける渡辺を見て)トシちゃん苦労してるよ、すぐ。今コピーしてるって。

松：俊美さん、今来てくれるみたいです。

箭：えー、誰かこれ、ハーモニカ吹

いてくれないかなイントロの。

あの、zoom見てる人でそれ吹ける人いたら、その人の

マイクだけをオンにして共演

とかつてないの、そんな簡単

なもんじゃないのか。あ、来た

来た。キーの問題があんのか

な、うん。はい。

渡：(コピーを受け取り)あ、すい

ません。はい。

箭：カポ2のGだけど、トシ

ちゃんのやりやすいキーで

いいです。じゃあえーと、こ

の「愛と伝説の風とロック

芋煮会歌本ナイト」お付き

合いいただいてありがとう

ございました。最後の、今夜

最後の曲になります。この

SUPER特番は、明日の

夜の7時まで続きますので、

引き続き、気が向いた時と

かお手すきの時とか、もし

くはもう全力でこの後、す

べて。あと、だからあと19時

間ってことだね。

松：そうですね。

箭：ご覧ください。

松：明日も素敵なお出演者が出ま

す。

♪「恋」

(拍手)

渡：ありがとうございます。

箭：じゃあみんなカメラ目線で。

渡&松：はい。

箭：どっち？赤ですか？

渡：青？

松：緑？

箭：青ですか？

松：青か。

箭：(渡辺に向かって)じゃzoom

をご覧のみなさん、ありがとう

うございました、おやすみな

さい。おやすみなさいは言わ

なくていいね、まだ続くから。

渡：zoomをご覧のみなさん、

どうもありがとうございました。

した。

一同：ありがとうございます。

渡：また！

箭：はい、みなさん、退出してく

ださい。



ありがとうございました

友：上原子友康(怒髪天)

渡：渡辺俊美(TOKYONoi

SOULSET)

01：LOWIQ01

T：TOSHIILOW

(BRAHMAN/OAU)

成：成瀬瑛美

藤：藤井敬之(音速ライン)

松：松田晋二(THE BACK

HORN)

箭：箭内道彦(風とロック)